



白銀の世界へ飛び出そう

年々増え続けているスキー人口ですが、今年の冬は例年にない大雪で各地のスキー場はどこも満員。

日曜、祭日ともなると親子連れや近郊からのスキー客でホテル、旅館もいっぱいです。

ここカルルススキー場も、スピードを楽しむ若い人、ゆるやかなスロープでミニスキーやボブスレーで雪と楽しむ子どもたちでにぎわっています。

冬の間はどうしても運動不足になりがちですが、部屋の中にとじこもっていないで天気の良い日は広い白銀の世界へ飛び出して、自然のすがすがしさを大いに満喫してみたいかがでしょうか。

健康と余暇の効用のためにも。

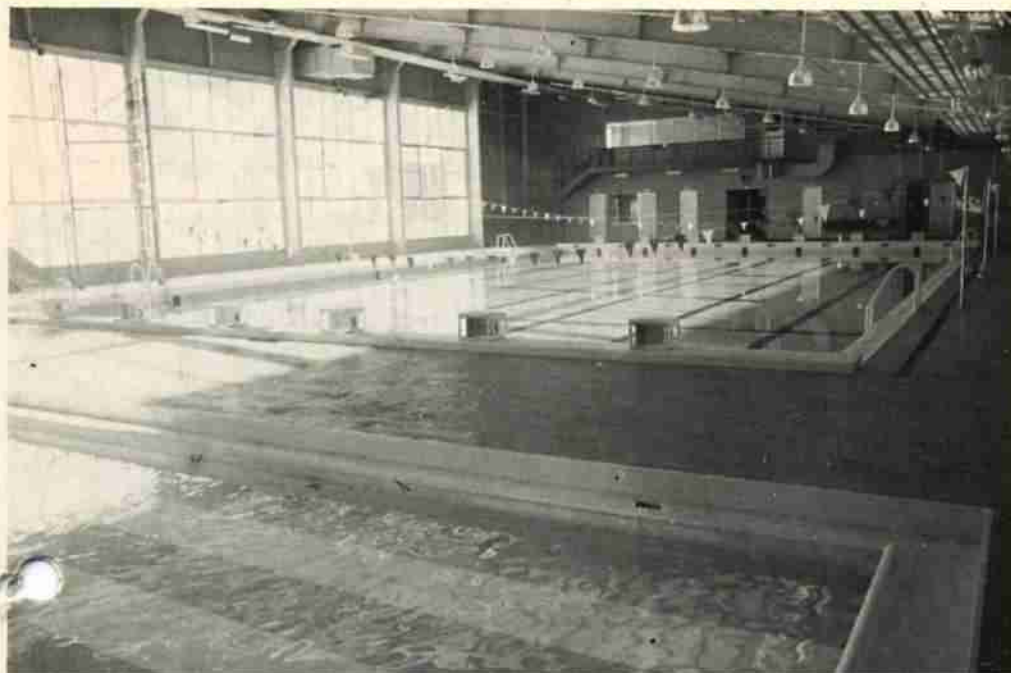
2 月号

1975 No. 183

大寒に水しぶき

水温25度、室温35度に

2月1日オープン



お待たせしました。市民みなさま待望の市民温水プールが完成、二月一日からオープンしました。健康の増進、余暇の活用を図るために雇用促進事業団と登別市が協同事業で建設したもので、一億三千万円の経費をかけ、市営陸上競技場と隣り合わせの敷地(約二万平方米)に、鉄骨造り二階建て建物の総面積は一千二百七十四・四七平方メートル、一階はプールのほか事務室、医務室、監視室、ボイラー室、更衣室、シャワールーム、乾燥室。二階には研修室(洋間、和室)となっています。

プールは、一般用が七コース、幼児用プールは四五・五平方メートルの広さです。

料金は、大人、勤労青少年、高校生が一人一回百五十円、小・中学生が一人一回五十円と格安となっています。専用使用料は三コース以内を限度として使用でき、一コースにつき千円、全館使用の時は、五千円、コインロッカー(男百五十人分、女百人分)一回につき二十円です。

温水プールの室温は三十度から三十五度、温水は二十五度を保つように運転いたします。

開館時間は、日曜日が十時～十八時、平日は十三時～二十時です。休館日は、火曜日と年末年始および特に必要な時になります。

下水道で守ろう 美しい自然と快適な生活



一日も早く下水道を

下水道は、私たちの健康を守る大切な役割をもつものであるし、下水道を通して浄化された水は、汚れた川の流れを澄んだ清い流れに変えてくれます。

家庭や工場から流れ出る下水は川や海や沼を汚し、生物を追放してしまいます。

このままいくと海の幸を口にすることもできなくなってしまうのです。

街にバキュームカーがはしり、台所やお風呂のよごれた水はそのまま流されて、水たまりができ、悪臭を放ち、カ、ヤ、ハエが発生します。

下水道ができるとこうした悪い環境はなくなりません。

きれいな川を、きれいな海をと呼ばれている今日、私たちは自然から受けたきれいな水を、きれいな姿で自然に返してやる義務があるのではないのでしょうか。

美しい自然に恵まれ、快適な生活を営むためにも、今、下水道の完備が一日も早いことを望まれています。

また、下水道の完備によって、いままでも使用できなかった低湿地が、有用地となり不快な悪水面や洪水面も影をひそめ土地の利用を高め、さらに道路維持修繕費の軽減、排水溝敷地の利用などの効用があります。

「登別市にも早く下水道を整備してほしい」という市民の声が、二・三年前から急速に高まってきました。

市でも下水道の全市的・地域的な建設基本計画の策定中であり、まもなく完成いたします。

昨年おこなわれた市政懇談会でも、各地区から排水、汚水対策、くみとり問題など出され、下水道事業を早急に実現してほしいとの強い要望がありました。

そこで今回は、なぜ登別市に下水道が必要なのか、下水道とは何かについて調べてみましょう。

下水道の建設と

財源のしくみ

水質公害のない、快適で健康な生活環境を約束する下水道は、建設に多額の資金が必要です。

登別市の場合、概算で三五〇億円の建設事業費を必要とし、①国からの補助金②地方交付税③起債(借金)④地域住民の税⑤受益者負担金などを財源として、下水道の建設がはじめられますが、より早く、より安全に完成させるために市民のみなさんの協力が必要となります。

下水道とは

下水道とは公共下水道、特定公共下水道、流域下水道、都市下水路の総称ですが、一般的には市町村が主体となって進めている公共下水道を指しています。

●公共下水道

都市ごとに家庭汚水や工場排水を集めて終末処理場で浄化したうえで河川などに放流するか、流域下水道に排水します。

市町村が主体となって行なうもので、この施設によって便所は水洗化できます。

●特定公共下水道

公共下水道のうち、主として市街地の工場や事業場の汚水を排除し、処理するものです。

●流域下水道

二以上の市町村にまたがる下水

を広域的に排除し、処理するもの。主として都道府県が主体となり、事業を行ないます。

河川などの水質は、一層効果的に保全されます。

●都市下水道

市街地の雨水を排除するもので、降雨時の浸水、滯水を防ぎます。

下水道のしくみと

施設の役割

下水道は、家庭の台所や水洗便所、あるいは事業場から排水される汚水、雨水などの下水を排除する働き、と下水を科学的に浄化処理する終末処理場、これらの施設をおぎなうポンプ場からなっています。

下水をあつめてきれいな水にするのが処理場です。処理場は施設のうちを公園にしたり、テニスコートにしたりしているところもあります。ここでよくれた水が生まれます。かわり、川や海に返されます。心臓部ともいえるべき終末処理場は、好気性細菌群が下水中の汚濁物質(有機質)を分解、消化しきれいにする働きを科学的に応用した施設で、きれいに処理された水は、消毒されて川や海に放流され、水質公害のない、快適な生活環境を作り出す。

また高度に処理された水は、再生され、水資源として工業用水などに使われています。

《下水処理場の施設》

●沈砂池、スクリーン(大きなゴミや土砂をとりのぞきます)。
●最初沈殿池(比較的沈殿しやすいうものを沈殿させます)。

●エアレーションタンク(活性汚泥(好気性微生物を多量に含んだドロ)を加え、空気を吹きこみます。微生物の働きによって有機物は沈殿しやすくなります)。

●最終沈殿池(沈殿しやすいかたまりになった微生物(活性汚泥)と水を分離させ、うわ水は減菌して川などに放流します)。

●汚泥処理施設(沈殿池の底にたまった汚泥を処理します)。

水洗所に改造しな

は、はなりません

下水道が施設されますと、下水処理区域内の汲取り便所は、処理開始の日から三年以内に水洗便所に改造することが義務づけられています。改造に必要な経費は、市から貸付け、または補助する制度を設けることができます。

また、これらに必要な資金は国から市に対して融資等が行なわれます。健康で快適な生活へ……できるだけ早く水洗便所に改造を。

税の申告準備は早めに!

今年も税の申告受け付けが、二月十七日から三月十五日まで実施されますので、申告準備を早めにつまててください。

申告の必要な人
●給与所得者で年末調整を受けなかった人
●営業所得者等で自営業者である人
●給与所得者でも、その他の所得のある人

申告すれば所得税の戻る人
●災害を受けたり、医療費を多額に支払った人や、住宅取得(貯蓄)控除を受けようとする人
●給与所得者で途中退職をし、年末調整を受けなかった人
●申告時に備える書類

●給与支払報告書(源泉徴収票)

●申告の督促等によってお互いにかまらずに思いをします。

●保育料、国民健康保険、児童手当等は、全て所得金額を基準とし計算しますので種々と手数をかけることとなります。

●申告相談日程
期間
二月十七日～二月十九日
二月二十日～二月二十一日
二月二十四日～二月二十六日
二月二十七日
二月二十八日
三月三日～三月四日
三月五日～三月七日
三月十日～三月十一日

●自営業者等は収入支出の証しになる書類
●災害、盗難にあった人は、関係機関よりの証明書
●医療費のある人は領収書
●生命保険、社会保険等の領収書
●住宅取得控除を受けようとする人は、登記簿謄本、確認通知書の写し、住民票の写し、印鑑をご用意ください。

●申告書の提出方法
書き方を知っている人は、郵便により提出されても結構です。書き方等で良く理解のされない人は、電話でおたずねくださるか、申告相談日割により最寄りの会場でご相談ください。申告をしない場合
●諸証明の交付を受けるときに大変不便です。

●この日程以外の日(日曜、祝祭日を除く)は市役所市民税係で相談に応じます。

●毎年申告の必要と思われる人は係から申告書を二月十日頃に発送していただきますが、申告書の着かない人で該当すると思われる方、このお知らせの中で、よく判らない方は電話等で市役所市民税係(本庁一階 電話五局二一一一・内線二二五)へお問い合わせください。

第一回臨時市議ひらく

市民プール条例など可決

昭和五十年の第一回登別市議会臨時会は、一月十三日に招集され報告二件を了承、議案四件がそれぞれ原案どおり可決されました。報告二件のうち、建設、経済常

任委員会結果報告は、十二月議会で付託された登別市民プール条例の制定についての議案で、プールの一般使用料が、大人、勤労青少年、高校生一五〇円、小・中学生が五〇円に修正し、特別使用料、

月額一、一〇〇円になりました

一月からの国民年金保険料

年金額の物価スライド制により一昨年、昨年と大幅に年金額を増額してきましたが、それにとまな

このように大切なお金ですから

もし、誰もが満足に保険料を納め

年金を受けるとき、少ない額し

か受けとれないばかりでなく、年

金制度そのものの存在さえ危うく

なりませう。どうぞ、年金制度を理

調整のとき控除になりますので、お忘れなく申告してください。

	改正前			改正後		
	月額	四(50年)	期分(1~3月)	月額	四(50年)	期分(1~3月)
一般分	900		2,700	1,100		3,300
五年年金	900		2,700	1,100		3,300
付加分	1,300		3,900	1,500		4,500

国民年金法の一部改正により、昭和五十年一月より保険料が表のとおり改正になりました。

保険料は納期限内におさめましょ

技能功労者

市長表彰に輝く

登別市内の三人の技能功労者が市長から表彰を受け、去る十二月十九日に伝達式と祝賀会がひらかれましたが、三人の方々の技能功績の概要をお知らせします。

◎松見孝吉氏(三) 市内中央町一八八八 松見建具店「木工」長年の修業を経て、昭和二十七年に現住所で松見建具製作所を自営してから、優秀かつ円熟した技能で従業員と共に優秀な建具を製作し、登別建具組合長として市内の後進技能者の育成と社会的地位の向上に励まれています。

◎佐々木鶴治氏(五) 市内登別東町四七二 佐々木板金工業所「建築板金」建築板金事業の経営者として卓越した技能を駆使し登別建築板金組合長、登別技能協会副会長として、板金業界の発展に努力すると共に事業内職業訓練、技能検定等に積極的に関わり組んで後進技能者の質的向上を図っています。

◎木村政吉氏(五) 市内幌別町三〇九一 木村電機工業所「電気」過去に室蘭地方高等職業訓練校において、訓練指導員として実務の基本的な分野により現場作業にいたる指導を行なうなどその優秀な技能は業界内で高く評価されており、さらに、各種技能大会、職業訓練校卒業照査等の技術指導ならびに審査員として後進技能者の指導育成に努力するから、登別商工会議所一号議員としての産業発展に寄与されています。

清掃事業功労者表彰

永年登別市の清掃事業にたずさわってきた市の清掃課の職員六人が、本年度の都市清掃事業功労者として、北海道都市清掃事業協会から表彰されました。

いづれも十年から二十年にわたって市民のゴミの収集作業とともに歩んで来た人たちです。

表彰式は一月二十四日、札幌市の石狩会館で行われました。

▽二十年勤続 宮川朝司(五) 新川町四丁目

▽十年勤続 半浦昭(三) 片倉町四丁目 高橋邦明(五) 新川町四丁目 高橋和弘(三) 新川町四丁目 鯉谷清(三) 登別東町四丁目 鯉谷忠志(三) 登別町九四

昭和50年の年賀お年玉つきはがきの当選番号

等	当選番号	各組共通	下りけた
1等	折りたたみ式 自転車	674166 699855	225224
2等	腕時計	各組共通	27707
3等	封筒とグリー デットのセット	各組共通	22800
4等	お年玉シート	各組共通	683
			023
			80
			48
			39

引換期間 50. 1. 20~7. 19
引換場所 本局および市内の各郵便局

宅地購入は充分注意して

住宅ラッシュが続く中で、家を建てられない土地を買って戸惑っている人も少なくない。写真は土砂崩れで不安の住宅。



- ◎ 家を建てようと思つて買つた土地が、よく調べてみたら家の建てられない土地だったというようなトラブルが多くなつてきています
- ◎ 高いお金を出してやつと手に入れた土地が、このようなことになつたのではマイホームの夢もどこえやらず
- ◎ 土地を買うときは、こんなことにならないように次の点に気をつけましょう
- ◎ 都市計画法による市街化区域内であるか
- ◎ 建築基準法による道路に接しているか
- ◎ 給水、給電が可能か
- ◎ がけ地に接近していいかないか

- ◎ 地盤の状態はどうか
- ◎ 造成地は正規の許可を受けているか
- ◎ 排水設備があるか

以上のほかに、まだ注意しなければならぬことがあります。悪質な不動産業者などの新聞チラシやうまい話にだまされないように充分に注意してください。土地を買う前には、必ず現地をよくしらべてみるのが大切です。そして家を建てられるかどうか建築指導係と相談してください。建築課建築指導係（本庁三階、電話五局二二二一・内線二五八）

地獄汁や入浴の無料サービスも

登別温泉湯まつり

2月1日(土)前夜祭、2月2日(日)本祭の2日間、各種湯まつりや入浴の無料サービスが行われます。お天気の良い日には、湯まつりや入浴の無料サービスに加え、お祭り気分を盛り上げるために、地獄汁や入浴の無料サービスも実施されます。

第4回 登別温泉湯まつり プログラム

2月1日(土)前夜祭			
17:30	湯鬼神登場	パワダイス前	
18:00	篝火点燈	メインストリート	
18:00	地獄汁みこし	町内	
20:30	湯鬼神パレード (旅館・商店訪問)		
2月2日(日)本祭			
11:00	全旅館浴場開放	温泉入浴無料サービス	
15:00	湯まつり開祭式 敷湯分湯の儀	湯沢神社	
12:30	献湯裸りこみ	メインストリート	
12:40	地獄汁サービス	パワダイス前	
13:00	分湯湯かけ合戦	同上	
18:00	湯鬼神厄払いパレード (旅館・商店訪問)	町内	
20:30	湯鬼神退散	パワダイス前	
21:00	篝火消燈	メインストリート	

正月スキージアカーでしなう

すしづめの列車、バスに加え、ゲレンデもラッシュニト、大変だったのではないのでしょうか。なかには、ケガをした人もいます。こうした場合を解決するには、労働時間を大幅短縮したり、有給休暇をふやしたりしないかぎりむずかしい。しかし、ちょっとした注意でふせげる問題もかなりあります。

自分がケガをしないため、他人に迷惑をかけないための最低必要なことを覚えておきたいものです。

その第一は、すべりだすまえに準備運動を十分に行うこと。

これだけは知っておこう

安全スキージアカーの五力条

1. くるつてあけた穴にスキーを突っこんだり、捨てたミカンの皮にひつかかたりして転倒、骨折など、これは実害あることです。

2. 第三は、コースの途中で立ち止まらぬこと。ぶつかった方よりぶつけられた方が大きなケガをします。コースの中央に立つのは自殺行為と思つたほうがよい。

3. 第四は、ビンディング(縮具)は弱めに調整すること。ころぶたびにすずれて面倒、なんていうのはとんでもない。そのおかげであなたの足が折れないです。最後は、自信のある人でもいきなりリフトに果らないで、はじめは歩いて登つて練習をすること。とくにシーズンはじめは滑走感覚がぶつている。じよじよに感覚をとり戻すことが大切です。

これらのことはとりわけ初心者には大切なこと。さらに、十人分楽しむために、こんだゲレンデとはいえないからずあいているところがあります。また、街の中での子供さんのスキー、スケートは危険です。おまめましよう。

おしらせ

No.68

のほりべつ文芸

原稿募集

のほりべつ文芸編集委員会では次の要領により「のほりべつ文芸」第三号の原稿を募集しています。多数応募ください。

募集作品

・創作・評論

一人一編二十枚以内

随筆

一人一編五枚以内

詩

一人一編二十行以内

※いずれも主題形式は自由、四百字語原稿用紙を使用。

俳句

生活者会議に参加しよう

登別市生活者会議では、次のとおり生活者会議をひらきます。

わたくしたちの日常生活において、どうしても解決しなければならない問題について、対話を深めます。

お気軽に参加ください。

日時 昭和五十年二月七日(金)

場所 登別市中央公民館

主催 登別市生活者会議

後援 登別市

対象 市内の主婦

一人三句以内(自選)

川柳

一人三句以内(自選)

短歌

主題形式は自由、一人三首以内(自選)

※いずれも官製ハガキを使用。

応募資格

市内に居住する一般住民(小学生を含む)

締切日

昭和五十年二月二十八日(当日消印のあるものは有効)

作品の送り先

登別市中央町六丁目十一番地

(郵便番号〇五九一〇三)

登別市教育委員会社会教育課宛

応募原稿には住所、氏名、年齢、職業、または学校名を明記する。

ペンネーム使用の場合でも、必ず

物価問題(資源問題を含む)

眼科、耳鼻いんこう科の設置

について

その他生活者会議の現状と

問題点等について話し合いが行なわれます。

内容

会費

一人百円(申し込みと同時に)

当日会場でお納めください)

申し込みおよび問い合わせ先

登別市教育委員会社会教育課

(電話五局二二二一 三五二)

質問合せ先

市教育委員会社会教育課(電話

五局二二二一内線三五二)

掲載された方には「のほりべつ文芸」(三月末刊予定)を贈呈いたします。

市では、毎月保健婦による「巡回家族計画学級」を行なっています。

この巡回家族計画学級は、妊娠出産に計画性をもたせ、無計画な妊娠、中絶によつて起こる弊害を防止し、積極的な話し合いや協力により、明るく健康な家庭を築いていくためのものです。

受講定員 二十名

申し込み方法

電話かハガキにて申し込みください。

赤ちゃんの「発育相談日」

市では、赤ちゃんの発育状態をみる「発育相談日」を開設しています。

この赤ちゃん発育相談は主に、身体測定及び発育と生理、乳児の栄養指導、その他育児相談などを、パンフ等を用いてわかりやすく相談に応じています。

該当児

生後六・九ヶ月児

用意するもの

母子手帳、バスタオル、替えオムツ

※この相談日開設にあたり、個人通知はいたしませんので、あらかじめ承知おきください。

実施場所

時間

三種混合

ジフテリア

ツ反

BCG

ひまわり園

登別支所

富浜児童館

中央公民館

登別支所

登別温泉支所

1:00~1:30

2:00~2:30

1:00~1:30

2月6日13日

1:00~1:30

2:00~2:30

2月5日

2月5日

2月4日

2月18日

2月5日

2月4日

2月7日

2月7日

2月6日

2月20日

2月7日

2月6日

2月上旬の予防接種

2月上旬の予防接種を次の日程により行ないますので、次のことに注意して受けるようにしてください。

- ツ反、BCG接種希望者は、3歳以下で一度も接種していない乳幼児のみ。
- 本年小学校入学予定者で、保育所、幼稚園に通っていない子で、ジフテリアの接種者は、中央公民館を利用してください。
- 体温は必ず家で計ってください。
- 母子手帳は必ず持参すること。

月	日	時	間	場	所	対	象	児
12月	12日	10:00~10:30	13:00~13:30	中央公民館	6ヶ月児対象	9ヶ月児対象	12日	14日
2月	19日	10:00~10:30	13:00~13:30	登別公民館	6ヶ月児対象	9ヶ月児対象	19日	21日
2月	10日	10:00~10:30	13:00~13:30	登民会館	6,9ヶ月児		対象	10日



野犬掃とうを実施

二月一日から三月三十一日まで野犬掃とうを、市内各地域で行ないます。

この期間内は、野犬および放し飼いされている畜犬のすべてを、捕獲殺処分の対象とします。

毒餌（硝酸ストリキニーネを餌料に加える）をけい留されているない犬に投与する。

・麻酔銃による捕獲。
・檻による捕獲。

※二月から四月にかけ、犬の繁殖時期に入り行動が粗暴となります。放し飼いすることにより、群をなし、人畜に危害を加えるようになりますので、絶対に放し飼いをやめ、十分な運動をさせましょう。

特にアイヌ犬・スピッツは気性が荒いので、たびたび咬傷事故がでています。飼育管理には十分注意してください。

転出やその他の理由で、飼うことができなくなった不用犬は捨てないで、市清掃課（五局二二二）に連絡して引き渡してください。

スポーツ教室で 冬の運動不足を解消しよう

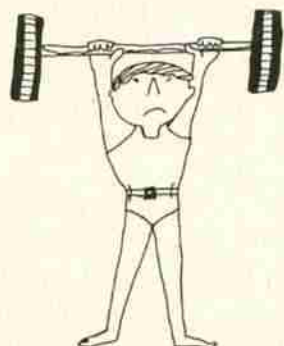
登別市総合体育館では、数多くの市民の方々にスポーツを楽しんでいただくために、次のとおりスポーツ教室を開催しますので、多数参加ください。

▽婦人バレーボール教室△

・期日
二月七日～二月二十八日まで毎週
火・金曜日（七回）

・参加対象者
市内の小・中・高校生をのぞく
婦人。ただし、全道ママさんバレーボール大会に出場した者も
のぞく。

・募集人員 三〇名



▽体力づくり教室△

・期日
二月七日～二月二十八日まで毎週
火・金曜日（七回）

・実施方法
事前に体力テストを行ない、その結果により各個人にあったトレーニングを各種トレーニング器具を使用して行なう。

・時間
午前の部、午後の部、夜間の部に分け

午前の部 一〇時から 一時間程度

午後の部 一四時から 一時間程度

夜間の部 一八時から 一時間程度

・実施方法
事前に体力テストを行ない、その結果により各個人にあったトレーニングを各種トレーニング器具を使用して行なう。

・募集人員
午前の部、午後の部、夜間の部とも各十名。

※申し込み先
バレーボール教室、体力づくり教室とも、登別市総合体育館（電話五局五五五二）

※申し込み締め切り日
二月六日まで。

※参加者は運動のできる服装をし、運動靴を持参ください。

※参加者に、スポーツ傷害保険を斡旋しますので、加入希望の方は、スポーツ教室参加申し込みと同時に申し込みください。

火災が最も多い時期です



一に備え、裏口や窓口なども除雪しおきましょう

販売士養成 講習会開催

日本商工会議所が、昭和五十年二月二十六日実施する小売商（二級販売士）検定試験を受験しようとする方に必要な商品知識、販売技術等を履習させ、小売業従事者の資質の向上を図ることを目的として行ないます。

▽対象者
販売士検定試験二級受験希望者

▽場所
登別商工会館

▽申し込み締め切り日
二月八日

▽受講料
五千円（テキスト代含む）

▽修了証書
講習時間の八〇割以上出席した受講者に修了証書を授与します

▽申し込み先
登別商工会議所

※講習内容等詳細については、登別商工会議所に問い合せください（電話五局四一一）

除雪作業に ご協力を

冬の交通確保には、除雪作業は最も重要なもので、その作業は能率的に行なわなくてはなりません。除雪作業がスムーズに行なえるよう御協力ください。
・路上駐車はやめましょう。
路上駐車により、除雪作業に支障をきたすばかりでなく、吹雪の時や夜間では事故につながります。

ご寄贈ありがとうございます
ごぞいませす

〈恵寿園へ〉

大友専之助 扇風機 五台

幌別婦人会 雑巾・ケキ・人形

登別婦人ボランティアクラブ オシメ

老人クラブ不老会 雑巾

高橋石太郎 図書

佐藤仕出鮮魚店 鏡・コップ・灰皿

第一滝本館 テレビ 四十九台

武田義雄 トド松

対島米太郎 オンコ・ツツジ

相良理髪店 理髪セット

辻本理髪店 理髪台 二台

伊勢理容店 理髪セット

〈老人福祉施設へ〉

真壁節雄 十八万円

市民の声



出生届、死亡届は出生地、死亡地以外の市町村役場でも届け出すことができるようですが、詳しくお知らせください。

また、印鑑証明書は室蘭などでは、印鑑をもって行かなくても出してもらえるように機械化されていますが、登別市はどのようになっていますか (一市民)

出生届は出生地または親の本籍地、住所地のいずれの役所にも届けることができます。

この場合、本籍地であれば一通本籍地以外の所であれば二通届書が必要となり、医師または助産婦の作成する出生証明書を添付し、出生の日から数えて十四日以内に母子手帳、印鑑を持参の上届け出してください。

死亡届も死亡地、死亡者の本籍地、住所地、届出人の住所地のいずれの役所にも届けることができます。出生届と同様に、本籍地であれば一通、本籍地以外の所であれば二通届書が必要で、死亡診断書を添付し印鑑を持参して届け出してください。

出生または、死亡の記載済の戸籍をすぐ必要とされる場合は、本籍地へ届け出した方が早くできます。本籍地以外の役所へ届け出した場合、事務処理や本籍地の役所への郵送の日数を要するので遅れてしまいます。

印鑑証明の機械化については、いろいろと検討中です。

現在、当市で印鑑登録をする場合は、登録する本人が印鑑を持参することになっています。本人がこれがない場合は、本人の印鑑と委任状(管轄の支所、本庁にすでに印鑑登録されている保証人の捺印と五十円の収入印紙が必要で)を代理人が自分の印鑑と一緒にお持ちください。その後は登録済の印鑑を持参されると、本人でも、代理人でも印鑑証明書を受け取ることができます。(市民課)

今年は何年になく雪の多い年で、除雪の幅が狭いため、車で交差する時に各所で混みあい、交通渋滞しているのが見受けられます。事故防止のうえから除雪の幅を広げていただけないでしょうか (一市民)

市では六台の除雪車を駆使して作業にあたっていますが、数十年来の豪雪であったことと、路上駐車が多く、特に両側駐車が大きな支障となつて道路の幅を維持することができません。皆さんの御協力をお願いいたします。土木課

市では六台の除雪車を駆使して作業にあたっていますが、数十年来の豪雪であったことと、路上駐車が多く、特に両側駐車が大きな支障となつて道路の幅を維持することができません。皆さんの御協力をお願いいたします。土木課

〈川柳〉

一般作品

志水 点滴
ひと呼吸沸騰点の蓋さがす
三春日満寿
ユーモアがこじれ味わう孤独感
小林 碧水
世の海は一人の波紋など知らず
岩水 福次
出世コース急げば遮断機
降りている
佐藤 良行
頂上に立てば待つてる下り坂
加納 美舟
砂の塔でもいい母の夢を積む
種田 翠舟
食卓に子らの話題が花を添え
首藤 政子
母を待つコタツの中的首ねっこ
石山 嘉子
思ってもいないところで渦を巻き
沢野 秀湖
一粒のみかんが旅の輪を広げ
田沢 政枝
崩れゆく愛のかげらに夢のせる
畑 虹児
酔いしれてグラスの中の俺と逢う
真殿 清
女房に甘えて見たい夜もある
菅原美保子
つい自分さらせる口が憎くなり
南 佐智
あこがれの灯は永遠に老いの身も
芳賀 吉子
朝日映え窓辺のしずく紅真珠
狩野 美星

長い留守どこもかしこも
われを待ち
木戸ミサ子
降る雪に追われるように急ぎ足
上野 紅花
蘭玉に達磨こぶしの情り顔
島山 只棚
年の暮れ疲れをいやす我家の灯
菅原 光子
正直を見栄が邪魔するアンケート
岡崎 守
作業服脱ぐ間を待てぬ肩車
三上 幸寛
朝の靴はけば妻子を背負う顔
上田 道雄

市民文芸

〈俳句〉

一般作品

斎藤 鮎村
凍てる夜を針炭はせて圧力計
大西 若牛
寒天へ非煙低くはりつきぬ
今野 広人
リククよりはみ出す鮭の
尾張れる
佐藤寒帯莊
草庵に温泉引きて冬ごもり
丸山 初子
新巻の背をひからせて旅立てり
岩水 福次
短日や老商掛けぬ荷が重し
中町 ヨシ
ダムの前自由に吹雪天下なり
黒田 三寿
しんしんと落葉に雨の躰み入る
中里 ユキ
雲動くともなく流れ冬の風
三田 龍波
あみ棒を操つる指に聖樹の灯
川口 静波
冬の蝶いのち刻みし羽根たむ
上野 拾翠
繰り年の俵を白磁の壺に語る
市岡美智子
晩菊の黄を濃くたもつ雨の中
中田 暁村
クツタラの背青々と夜を育て
白井長流水
太き日箭沖に突き立て風花す
島山 白翠
肩にふれし落葉の声を聞きもらす
木村 陳郎
年つまる露地の一灯さきかけて

霧穴掘るシャベルともなる舌の先
佐藤 温石
今ならば孟母の涙思切れ間なし
石井 正巳
ふるさとの話に女酌きこぼし
佐藤 貞子
内緒だとひとこと洩らして
苦勞ふえ
吉岡とし子
眠(まなじり)をあけて物価の
ふくれづら
河崎 一発
宿命を抱してもらわれ子がなつき
加納 愛山
風を引くまづ手応えを子に持たす



青年学園生15人がひかり学園を慰問、もちつき、映画、ゲームで楽しんでもらいました。



大内建設株が10万円を寄贈

心あたたまる
愛の手
ありがとう
ございます



原智恵子さんがチャリティ益金をめくまれたい人たちに寄贈

西村食品株からのデコレーションケーキは、恵寿園のお年寄りや母子家庭、各施設へ。



母子会、青年ボランティア、商工会議所青年部による母子家庭クリスマスパーティーは楽しいゲームで盛会



節分・立春

寒三十日を切りぬけて、やっと立春にこぎつけた、冬のおわりのこの月を「朔月」といいます。

衣をさらに着る...という意味と気節の変わりめの陽気をさらに迎えるので「風更に来たる」という呼び名ができたとも伝えられます。

この季節の変わりめを「節分」といいます。ですから、もとは立春の前日だけでなく、立夏、立秋、立冬の前日も節分といつて、それぞれその日を祝ったようですが、立春の前日の節分だけは、冬の季節から春の季節に移る分岐点、つまり一年の終わりに当たるのでとくに重んじられていました。

節分の夜「漏は内、鬼は外」と大きな声で唱えながら豆をまく習慣は、まだ各地でさかんに行われています。こどものころこの夜、鬼が来たら豆をぶつけて追い払うという行事がなんとなく神秘的で空が暗くなるのを待ちかね、なんべんも戸外のようなすをうかがった思い出を持っているかたもおられると思います。

鬼の人は、描かれた絵や人形でおぼえてはいるものの、現実には人間の形をしてソノを生やし、キバをむき出し、この寒いのに裸でトラの皮のパンツをはいているなど、どう考えてもこどもにとってお父さんやお母さんがそばにいて

くれて、さあもつと大きな声で、と声援されながらまく豆は、鬼など来るなら来てみるという気持ちもあつたことでしょう。

節分の豆まきは、一種の年越し行事で、大みそかの夜、豆まきをする地方もあるとか。もともとは「鬼やらい」という儀式は平安朝のころは宮中で毎年、大みそかに行なわれていました。

鬼やらいというのは「追儺」といって、大舎人が楯と矛をもって鬼を追い、王親以下が桃の弓で草の矢を放つ行事で、これが鎌倉時代の末まで、公の儀式となっていたようです。その後、各地の神社でも行われるようになり、日取りもこの日に定着しましたが、今日ではその年の干支になんだ芸能人や有名人を年男に仕立てて豆をまいてもらっています。

さて、ことしの豆まき行事はどうでしょうか、輸入大豆が払底して、思うぞんぶんまけますかどう

市の人口

(12月末現在)

総人口	51,368	(297増)
男	25,686	(153増)
女	25,682	(144増)
世帯数	15,085	(76増)

() 内は前月との増減

保健婦ガイド

健康を保つには

近年は医学の進歩と衛生知識の普及により、平均寿命は大変のびています。

ところが反面、自然破壊などが起って健康を保持しにくくなってきていると思います。

そこで、常に自分の身体に関心を持ち、健康であることが大切になってきています。

健康をつくり出す暮らしをしていただくために、守りたい生活の原則についてお話しします。

健康を保つ四つの柱として、快食、快眠、快便、快笑があります。

1 快食のこと

一日三食規則正しく、おいしく何でも食べること。食生活は身体のエネルギー源ともいえます。

偏食、むら食いをすると体力が低下し疲れやすく、全身的に貧血を引き起こします。

朝、昼、夜の食生活を正しくやしむことが大切です。

2 快眠のこと
十分な休息と睡眠をとります。夜ふかし、寝不足は体調をくず



す最大原因です。心身の疲れを和らげるため一日に六〜八時間は眠ってください。十分な睡眠をとるための環境(部屋の温度調節・寝具の好み・雑音や光の遮断)を整えることから始めてください。

3 快便のこと

通じを整えることで、一日に一回決まった時間にトイレに通います。便秘すると、排便の時にきんで痔病を起したり、血圧を上昇させます。

規則正しい便通は、摂取と排泄のバランスをとり、習慣化することで整えていきましょう。

4 快笑のこと

いらいらしないで、心から笑えることです。精神的な苦痛は、肉体的な疲労、頭痛に至ります。心配や不安のためイライラしていると、生活の歩調がみだれ不眠食欲不振、衰弱を引き起こします。

身辺を円満にし、快い生活を心がけます。

四つの柱のつながり
それぞれ密接な関係があります。例えば、食べなければ便秘の原因になり、便秘するとイライラしイライラすると眠れません。

四つの柱が備わってこそ、調子の良い生活ができるわけです。

担当 小野寺恵子

で、子供さんの作品を見にきてください。

このような小さな行事ではありますが、このコーナーでご紹介するのは、図書館がただ本を貸し出したためのだけでなく、学生たちの勉強場所であるだけではないというところを知ってほしいからです。

そして、幅広い市民のご利用を願うわけです。

新刊図書紹介

- 未来への遺産(二回) 学 研
- セックス常識のウソ 石垣純二
- ソインの世界 井上宗和
- 梅干と日本刀 樋口清之
- 王持殺人 斎藤 栄
- 知られざる 小田茂樹
- 誰も書かなかった韓国 佐藤早苗

郷土資料

いづこ(嬰兒籠)



嬰兒を入れて保育するためのわら籠です。
生後三日または七日目に、いづこに入れ、乳児がはい出すまでの間使われる風習が、全国各地にありました。

忙しかった昔の人たちが、保温と安全性を保ち哺育のために、家人の手を省くことを考えたものです。

仙台ではイジコ、秋田でイヅミと称し、地方によって別な呼び名がつけられております。

特別では、イヅコと称し昭和十一年代まで使われていました。

写真のイヅコは、昨年九月に鶯別地区のゴミ集合所にあったのを収集員の方の厚意により届けられた貴重な品です。

写真のいづこの由来などを知りたいのですが、心当りの方はご連絡ください。 図書館郷土資料室

図書館コーナー

版画講習会を開いてみて



真剣に版画作りに取り組む子供たち

写真で見られるように子供たちの真剣な版画づくりの姿を見て、いかに子供たちの欲求が幅広く深いものであり、学校以外の教育の場が必要であるかということを感じました。

学校での教育と子供たちが、自由に参加できる図書館などの行事によって、無限の子供たちの力と夢をひろげていきたいものです。

十二月十四日から二日間おこなった年賀状版画の作り方講習会では、約三十名の参加者が札幌東小教諭の指導のもとに熱心に、ゴム板を使ってそれぞれの好みにあわせて作りました。

この時に作った版画作品は、図書館児童室に展示してありますの